

「実践的手術手技向上研修事業」

愛媛大学解剖学発生学

松田正司

謝辞: 本事業は平成24, 25, 26, 27年度の厚生労働省「実践的な手術手技向上研修事業」の支援を受け、実施されたものである。

謝辞: 平成27年度には愛媛県医師会から手術手技研修事業に1,000万円の支援があり、各講座から希望のあった機器をほぼ全て購入出来た。

手術手技研修センター開所式




表紙写真(平成24年の開所式)

左側: 中央から柳沢学長、安川学部長、大西手術手技研修センター長、檜垣病院院長


右側: 中央から阿部喜教白菊会理事長、森実栄一、増口和夫、犬飼美子各副理事長

愛媛大学白菊会理事長挨拶



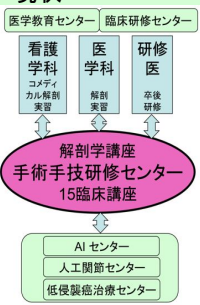
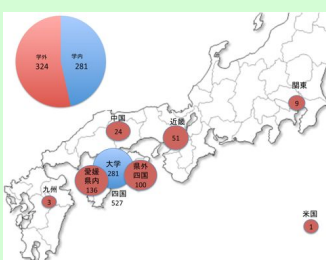
幸いシベリア抑留を生き抜くことが出来、この体で医学生が医師となる勉強を支援出来るならばと入会。

現場の医師が最先端の難しい手術手技をご遺体から学ぶことにより、愛媛県内医師の医療技術が格段に錬磨されることは、白菊会員自身の子や孫にも直接恩恵があるということでもあり、思いがけない喜び。



「屍は生ける師なり」の額が手術手技研修センターの扉を開けると掲げられている。ご遺体を師とし、頭を垂れてその教えを学ばなければならない。

現状

16講座、6センターの協力関係

参加者の分布(平成26年度)

肝胆膵・乳腺外科学講座




HD Image
視覚情報が70%を占める腹腔鏡手術において、繊細な手術手技には、高画質映像が必須です。

Soft Cadaver
Thiel法で固定されたCadaverでは、気腹も剥離も通常手術と同様に行えます

Co-medical
看護師にとっても、時間の制約のない手術研修はとても有意義です。医学部学生には絶好の手術の勉強のチャンスです。

耳鼻咽喉科学講座



顕微鏡下側頭骨手術

内視鏡下鼻副鼻腔手術

脳神経外科学講座

第3回 愛媛脳神経微小解剖セミナー (2013/10/12-14)

整形外科科学講座(人工関節センター)

外部講師を招いての研修

眼科学講座

愛媛涙道手術手技研究会

産婦人科学講座

計8回の手術研修

麻酔・周術期学講座

X線透視下硬膜外ブロック
CTガイド下三叉神経節ブロック

歯科口腔外科学講座

CADAVER TRAINING 参加者数

年度	歯学部参加者	歯科科参加者
2012年度	15	10
2013年度	15	15
2014年度	15	25


手術手技研修参加者の年次推移

CADAVER TRAINING 設備施設に有用か?


回答	割合
有用	22%
中程度	18%
無用	60%

手術研修参加者のアンケート結果

内科学第一講座・総合臨床研修センター



簡易シミュレータを用いた手技の練習と実技の確認(胸腔穿刺)



実際のご遺体による実践的手技習得(胸腔穿刺)

愛媛県内の初期研修医数(卒業大学別)

年度	愛媛大卒	他大卒
平成28年度	100	100
平成27年度	100	100
平成26年度	100	100
平成25年度	100	100
平成24年度	100	100
平成23年度	100	100
平成22年度	100	100

来年度は本冊子を研修説明会で配布


内科学第二講座



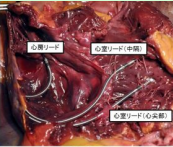
左鎖骨下静脈から各種リードを透視下に留置し、透視下でのリード位置と実際の留置部位の差異を検討した



透過性の良い透明アクリル板の解剖台



透視画像



解剖所見

日本医科大学多摩永山病院の井川修教授来院

脳神経外科・耳鼻咽喉科ジョイントセミナー






1回/年のペースで継続


脊椎センター(脳神経外科・整形外科)



AIセンター



マルチスライスCT(GE社製 Light Speed 16)が入っており、スライス厚0.625mmまでの画像撮影



手術手技研修センター内に設定した管理区域において、X線撮影装置(Cアーム)を用いた研修

将来の希望 消化管・腫瘍外科学講座

daVinciを用いたロボット手術





当センターへの将来の希望として、既に当科でスタートしているdaVinciを用いたロボット手術を、カダバーで行うことができる環境作りが挙げられます。実現できれば、愛媛大学医学部は、全国に誇ることのできるあらゆる外科手術トレーニングのメッカになると思います。